

令和3年度 三島町民生児童委員協議会 事業報告

①定例会 原則毎月第1木曜日開催
活動報告・協議事項
地区内の課題及びケース検討・今後の予定など

②役員会・監査会
4月・9月・12月・2月 5回

③広報委員会
6月・11月・2月 3回

④研修、意見交換など
【自主研修】 5月・7月・10月 3回
【小グループ意見交換会】 8月・2月 2回
【DVD視聴研修】 11月・1月・3月 3回
【研修会】 7月・10月・11月・12月 延べ5回

⑤調査活動
・福祉票、緊急連絡カードの整備
・災害時要支援者カードの作成
・福祉マップの整備
・防火診断対象世帯
・除雪援護費助成対象者調査
・歳末たすけあい援護世帯対象者調査
・冬期間留守世帯調査
・除雪時要注意世帯調査

⑥相談活動 心配ごと相談所の運営協力

⑦見守り・一斉訪問活動（5月・10月・2月）

⑧みんきょう便りの発行（7月・12月・3月）

⑨その他の活動

- ・地域ふれあいサロン開催支援、協力
- ・社会を明るくする運動への協力
- ・老人クラブ「川井長寿会」との交流会
- ・歳末たすけあい募金活動の協力
- ・福島県民生児童委員協議会理事会・評議員会
- ・会津地方民生児童委員会長連絡会役員会
- ・社会福祉協議会への事業協力
- ・町、学校、保育所事業への協力
- ・町老人クラブ連合会への協力
- ・町戦没者遺族会事業への協力
- ・保護司会への協力



3. 11被災地仙台市立荒浜小学校を訪れて

車から降りると、遠くに何本かの松の木しか残っていない砂浜に取り残されたように荒浜小の校舎が建っていました。所々の破損と増水時の痕跡を確認しましたが、中に入るとその様子は一変しました。横長の校舎の廊下を柱でもしたかのように、車や流木などのがれきで埋め尽くされた大きな写真がたくさん掲示されており、被害の甚大さが見て取れました。かつてそこには明るくはしゃぐ子どもたちの姿や笑い声にあふれていたであろう事を思うと、こみあげてくるものがありました。ただ、幸いにも、この校舎では一人の犠牲者も出さなかった事がせめてもの救いです。

海洋国の日本では、海と関ることを生業に、これからここで暮らす方々がたくさんいる事と思います。しかしそれは、またいつ来るかもしれない災害の恐怖を感じながらの生活であるかもしれません。これまでの教訓を胸に、災害に立ち向かい一人の犠牲者も出ないことを祈ってやみません。

報告者：山内 初治（西方地区担当）



☆編集後記☆

7月になり紫陽花やタチアオイの花が色鮮やかに咲き誇っています。通常なら、タチアオイの花が先端まで咲くと梅雨が明けると言われていますが、今年は6月中旬に梅雨明けが宣言されました。今年の夏は暑くなると予想され、連日熱中症で病院へ救急搬送された人の数が放送されています。

町民の皆さんも、喉が乾く前に水分を十分に摂りながら「①運動、②栄養 ③休養」を意識し、体調管理に気を付けてお過ごしください。

